



マイクロン、企業秘密の窃盗に関する米国司法省の起訴について 声明を発表

サンフランシスコ - 2018年11月1日 -

[マイクロン テクノロジー社](#) (NASDAQ:MU) は本日、米国司法省から2018年11月1日に聯華電子 (UMC)、福建省晋華集成電路 (晋華)、マイクロンの台湾ユニットの元従業員3名を企業秘密の窃盗、経済分野におけるスパイ活動、およびその関連犯罪を共謀した容疑で起訴したとの通知を受けました。

マイクロンの法務担当シニアバイスプレジデント兼法務最高責任者兼法人書記役であるJoel Popen氏は次のように述べています。「当社の知的財産を窃盗した容疑者らを起訴するという米国司法省の決定に感謝しています。マイクロンは知的財産を開発するために何十年もかけて数十億ドルを投資してきました。本日、法的措置が発表されたことにより、犯罪行為としての不正利用には適切な対応がなされる可能性が高まりました」

起訴状に名前の挙がっているマイクロンの元従業員は、マイクロンメモリ台湾のStephen Chen 元会長、およびエンジニアのJT Ho氏とKenny Wang氏です。

2017年12月、マイクロンはUMCと晋華を相手どって、米国のカリフォルニア北部地区連邦地方裁判所においてマイクロンの知的財産および企業秘密の不正利用に関する訴訟を起こしていました。

以前の訴訟に関する背景

- 2017年8月、台湾当局はUMCとその従業員3名を相手どって、晋華と協力してDRAMチップ製造技術を開発するためにマイクロンの企業秘密を窃盗、利用した容疑で刑事訴訟を起こしました。起訴されたうちの2名はマイクロンの台湾ユニットの元従業員であり、今回米国司法省からも企業秘密の窃盗容疑で起訴されています。
- 2017年12月、マイクロンはUMCと晋華を相手どって、米国のカリフォルニア北部地区連邦地方裁判所でマイクロンの企業秘密の不正利用に関する民事訴訟を起こしました。
- 2018年1月、台湾当局による刑事訴訟とマイクロンによるカリフォルニア州連邦地方裁判所への民事訴訟に対する報復行為として、UMCと晋華は中国福建省で中国にあるマイクロンの複数の子会社に対して特許権侵害の訴訟を起こしました。2018年7月5日、福建省の裁判所はマイクロンの上記の子会社に対して暫定的差止命令を発出したことを通知しました。マイクロンは同社に自らを弁護する機会を与えずに発出されたこの差止命令について、同裁判所に再審理を行うよう求めました。マイクロンは特許が無効であること、マイクロンの製品が特許を侵害していないこと、およびこれらの訴訟には法的根拠がないことを確信しています。



マイクロン テクノロジー社について

マイクロンは革新的なメモリおよびストレージソリューションの業界リーダーです。マイクロン®、Crucial®、Ballistix®という当社のグローバルブランドを通じて、DRAM、NAND、NORフラッシュ、3D XPoint™メモリといった高性能なメモリおよびストレージ技術の幅広いポートフォリオで、生活を豊かにするために世界中で情報の利用方法を変革しています。40年にわたるテクノロジーのリーダーシップに裏付けされたマイクロンのメモリおよびストレージソリューションは、クラウド、データセンター、ネットワーク、モバイルといった主要マーケットにおいて、人工知能、機械学習、自動運転車などの既存の価値を破壊するようなトレンドを可能にしています。マイクロン テクノロジー社の普通株式はNASDAQでMUというティッカーシンボルのもとで上場取引されています。マイクロン テクノロジー社に関する情報はwww.micron.comをご覧ください。

###

マイクロン メディアリレーションズ担当

Erica Pompen

マイクロン テクノロジー社

電話+1 (408) 834-1873

epompen@micron.com

マイクロン インベスターリレーションズ担当

Farhan Ahmad

マイクロン テクノロジー社

電話+1 (408) 834-1927

farhanahmad@micron.com

©2018 Micron Technology, Inc. All rights reserved. 情報、製品、および/または仕様は予告なく変更されることがあります。マイクロン、マイクロンのロゴおよびその他すべてのマイクロンの商標は、マイクロン テクノロジー社の商標です。その他すべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。